

教育研究業績書

2018年11月21日

所属：日本語文化学科

資格：教授

氏名：西山 明美

研究分野	研究内容のキーワード
芸術（書道）	良寛の書と芸術
学位	最終学歴
文学士	佛敎大学 文学部 国文学科 卒業

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. 電子教材「変体仮名の書き方」	2006年10月	「変体仮名」の筆法をビデオカメラで撮影し、M o a で電子教材を開発した。『あ』行『わ』行中の「い」と「え」の表記の違いも書き分け、現代発音での音声も加えている。留学生も参考にできるよう工夫している。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 『新古今集 四季の歌』	共	2017年3月10日刊行	芸術新聞社	<p>新古今和歌集より四季の和歌を選歌して、幻想的な四季の情景を写す雅な料紙に書き付けた幽玄の美の世界 新古今和歌集の504番 朝恵法師、523番 中務卿具平親王の和歌を担当。表現した書作品とその解説を見開きページに著わす。</p> <p>『万葉集』に綴られた恋の和歌40首の解説と書と篆刻を楽しむ学べる書として、わかりやすく読み解いていく</p> <p>古今和歌集の250番 文屋やすひで、254番 読み人知らずの和歌を担当。表現した書作品とその解説を見開きページに著わす。</p> <p>『万葉集』に載る、四季を詠った50首の和歌の解説と書の手引きをわかりやすく読み解いていく</p> <p>『百人一首』の77番、崇徳院の和歌を担当。書作品とその解説を見開きページに著わす。</p> <p>現存する良寛の書簡269通をもとに良寛の芸術を考察した。漢詩423首、和歌1398首からみる真の良寛の内奥を探った。 何の銜もなく表現した良寛の「卒意の芸術」の世界を、細かく分析しながら詳解したものである。</p>
2. 『万葉の恋』	共	2017年3月7日刊行	淡交社	
3. 『古今集 花の歌』	共	2015年12月10日	芸術新聞社	
4. 『万葉の四季』	共	2014年02月22日刊行	淡交社	
5. 『100人で百人一首 ー散らし書き 百花繚乱ー』	共	2014年01月09日	芸術新聞社	
6. 『良寛の芸術 ー書と詩歌ー』	単	2010年06月刊行	武蔵野書院	
2 学位論文				
3 学術論文				
1. 良寛 情 [こころ] の書	単	1995年03月	書道研究 一東216号6頁	書は人なり、良寛書の評価が高まる現代であるが、その要因を追及 (pp. 2-7)
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 『万葉の恋』所収の万葉歌の解説	共	2017年7月2	谷崎潤一郎記念館	古代人のこころを今に伝える「万葉集」から代表的な

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 『万葉の四季』所収の万葉歌の解説	共	2014年11月02日	谷崎潤一郎記念館	恋の歌を選歌して執筆した『万葉の恋』所載の和歌を料紙や帯などに散らし書きした作品の解説やパフォーマンス。いつの時代も変わらない恋の歎びと哀しみを考察しながら「万葉集」の楽しみ方をわかりやすく解説した。 『万葉の四季』（淡交社刊）の執筆者である藤田朱雀（西山明美）・樋口百合子による万葉歌の解説と書き方などについて講演。また最後に万葉歌を樋口百合子が冷泉流にて披露（朗詠）し、それに合わせて藤田朱雀が書をパフォーマンスした。
2. 学会発表				
1. e-Learningを活用した書道教育の試み	単	2007年09月		日本書道に不可欠の「変体仮名の書き方」を一文字づつ毛筆で書いている様子を撮影。筆遣いや運筆がよく理解でき、課外時間でも学生が独習することが可能な教材に編集、制作したものである。また、仮名の発音を現代音声で取り込み、ローマ字表記も加え、留学生でも活用できるよう工夫している。
2. 元永本『古今和歌集』の雅の世界	共	2005年02月	MKC R	武庫川女子大学、徳原 茂実教授と「元永本古今和歌集」を書芸としての側面を中心に『雅の世界』を考察した。元永本古今集は美しい料紙に書かれたものである。手習いのための写本ではなく、芸術作品の作成を目指した。栄華を誇った貴族たちが古今集に対する理解を芸術的に表現しようとした結果である。
3. 『仮名を書く』 一元永本古今和歌集の場合	単	2003年02月		元永時代の考証と元永本古今集の解説。その書風を表現するために文字造形の考察。元永本古今集に書かれた書風を理解して丁寧な臨書。表現すべき和歌を決め原本より集字して倣書。この倣書作品を参考に文字集団と余白の調和など加味しながら、作品構成を考察しつつ推敲を重ね仕上げる過程を実演しながら発表。
4. 良寛を巡る人々	単	1995年10月		良寛の村の人々との交わりは、逸話、和歌、漢詩からも心温かい様子が伝承されている。越後人の人情の厚さは200余年を経ても変わらず、良寛を慕う現代の心と通じあうものがある。その地盤に支えられた良寛書芸としての和歌、漢詩、書等々について考察した。
5. 良寛と童	単	1994年10月		逸話にみる良寛と童のかかわりから、童にかかわらざるを得なかった良寛の心奥と時代背景をさぐる。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 尼崎秀作美術展	単	2018年02月	尼崎芸術文化協会	『万葉集』春の部より3首を2×8尺の画仙紙に表現して額装に仕上げた。
2. 尼崎書人会展	単	2017年10月	尼崎市書人会	『万葉集』秋の部より 収穫の寿ぎを祝う歌5首を2×8尺の画仙紙に横形式にて表現、額装。
3. 読売書法展	単	2017年08月	読売新聞社	『新古今集』より秋の歌三十五首を仕上げり4mの卷子本にて発表。
4. 『万葉の恋』展	単	2017年07月1日	谷崎潤一郎記念館	万葉の恋』展（『万葉の恋』淡交社刊一出版記念展）『万葉集』に記される様々な恋の歌から選りすぐりの料紙に表現した『万葉の恋』（淡交社刊一出版記念展）搭載の作品30余点を展示。合わせてギャラリートーク「万葉びとの恋模様」と作品制作のパフォーマンスも。
5. 尼崎秀作美術展	単	2017年02月	尼崎芸術文化協会	『源氏物語』54帖より、各一首を選歌して54首を卷子本（4m）に表現。
6. 尼崎書人会展	単	2016年10月	尼崎市書人会	『万葉集』恋の部より4首を利休屏風に表現
7. こうべ芸文美術展	単	2016年10月	神戸芸術文化会議	「行幸」と題して2×8尺の画仙紙に表現。『源氏物語 行幸巻』より
8. 董其昌没後380年記念展(日中書画交流展)	単	2016年09月06日	一般社団法人 世界芸術文化交流会	「千代に八千代に」と題して『蓮露』より
9. 全国大学書道学会展	単	2016年09月	岩手大学	石川啄木の歌1首。
10. 読売書法展	単	2016年08月	読売新聞社	『与謝野晶子歌集』より心の歌4首を2×8尺の画仙紙に横形式にて表現。
11. 尼崎秀作美術展	単	2016年02月	尼崎芸術文化協会	『伊蘆巴』（いろは）扁額
12. こうべ芸文美術展	単	2015年10月	神戸芸術文化会議	「梅が枝」と題して2×8尺の画仙紙に表現。『源氏物語 梅枝巻』より
13. 尼崎書人会展	単	2015年10月	尼崎市書人会	『紅葉』卷子本(4m)にて発表（『万葉集』より三十五首）
14. 読売書法展	単	2015年08月	読売新聞社	『賀』卷子本(4m)に表現。（『源氏物語』初音の巻より）

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
15. 尼崎秀作美術展	単	2015年02月	尼崎芸術文化協会	卷子本。『万葉集』所載の和歌より三十五首を全長4mに纏めたもの
16. 万葉の四季を書く	単	2014年11月	個展 谷崎潤一郎記念館	『万葉の四季』（淡交社刊）所載の四季を詠った50首の和歌の解説と書の手引きをわかりやすく解説した著書に掲載のうち三十点の作品を展示。合わせてギャラリートークと作品制作のパフォーマンスも。
17. こうべ芸文美術展	単	2014年10月	神戸芸術文化会議	「花」2×8尺の画仙紙に表現。『源氏物語 少女巻』より。
18. 尼崎書人会展	単	2014年10月	尼崎市書人会	「やまとうた」と題して、古今和歌集序抄を折帖に表現
19. 読売書法会展	単	2014年08月	読売新聞社	『寿ぎ』卷子本(4m)に表現。（『源氏物語』若菜の巻より）
20. 尼崎秀作美術展	単	2014年02月	尼崎芸術文化協会	折帖。万葉集より三十二首を纏めたもの。
21. 全国大学書道学会展	単	2013年10月	横浜国立大学	『古今和歌集』より一首。
22. 千年前の日本の貴族の書の世界	単	2013年09月	個展 パリにて	平安時代の雅な書の世界を展開。 源氏物語の和歌を舞扇、帯、羽子板、掛け軸等々に表現。
23. 読売書法展	単	2013年08月	読売新聞社	卷子本。『源氏物語』所載の和歌より三十三首を全長4mに纏めたもの。
24. 尼崎秀作美術展	単	2013年02月	尼崎芸術文化協会	折帖。『万葉集』所載の和歌より秋の和歌二十八首表現して纏めた。
25. 全国大学書道学会展	単	2012年10月	京都教育大学	『古今和歌集』より 紀貫之の和歌一首
26. 読売書法展	単	2012年08月	読売新聞社	『よしの川』折帖（古今和歌集より夏の和歌30首）
27. 日本書芸院四月展	単	2012年04月	日本書芸院（社団法人）	『鶯』2×8尺 横額 鶯の歌3首表現（万葉集より）
28. 藤田朱雀書作展	単	2012年03月	個展 暁雨館（四国中央市）	『正岡子規』・『小林一茶』暁雨館にゆかりのある人の句や和歌と『源氏物語』所載の和歌を表現して書の侘び、寂びと雅な華やかな世界を表現。
29. 尼崎秀作美術展	単	2012年02月		
30. 尼崎書人会展		2011年11月		
31. 読売書法展		2011年08月		
32. 日本書芸院四月展		2011年04月		
33. 尼崎秀作美術展		2011年02月		
34. 尼崎書人会展		2010年10月		
35. 全国大学書道学会書道展		2010年10月		
36. 読売書法展		2010年08月		
37. 生活美術の書展		2010年05月		
38. 日本書芸院四月展		2010年04月		
39. 尼崎秀作美術展		2010年02月		
40. 良寛と貞心尼の相聞歌を書く		2009年11月	個展 谷崎潤一郎記念館	良寛と貞心尼が贈りあった和歌、『蓮露』という相聞歌より選歌して額、軸作品を制作して発表。
41. 一東書道会全国展		2009年11月		
42. 日展	単	2009年11月		
43. 全国大学書道学会書道展		2009年10月		
44. 尼崎書人会展		2009年10月		
45. 読売書法展		2009年08月		
46. 生活美術の書展		2009年05月		
47. 兵庫県書道展 役員展		2009年05月		
48. 日本書芸院四月展		2009年04月		
49. 兵庫県書道展一評議員・委員展一		2009年02月		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
50. 尼崎秀作美術展		2009年02月		「この宮の森の木下に子供らと手毬つきつつこの日 くらしつ」 『春のうた』 2×6 額装 古今和歌集 春部より3首
51. 『書の王朝絵巻』 源氏物語を書 く		2008年12月	個展 谷崎潤一郎記念館	源氏千年紀の締めくくりの12月に、源氏物語をテ ーマにして、源氏54帖から和歌を各帖1首選出し て、額、軸、着物、帯、蛤で54組の貝合わせ、等 々に制作した作品を発表した。
52. 一東書道会全国展		2008年11月		『実り』 額装 3尺×8尺作品 万葉集より 和歌2首
53. 日展	単	2008年11月		『夢』 卷子 万葉集より30首
54. 尼崎書人展		2008年09月		作品「初雁」 折帖。 万葉集より、36首。
55. 読売書法展		2008年09月		作品『恋』 卷子。 新古今集より40首。
56. 全国大学書道学会書道展		2008年09月		作品『童』 額 良寛歌
57. 生活美術の書展		2008年05月		作品『たのしみ』 ガラスのプレートに制作。（ガラ ス40cm×40cm） 与謝野晶子の句を1首。
58. 日本書芸院4月展		2008年04月		作品「たび」 2×8尺 額装。 山家集より 5首。
59. 『源氏物語の世界を書く』	単	2008年03月	個展 ギャラリーShima	一書の王朝絵巻— 源氏物語五十四帖の各帖より1首抜粋して54首の 和歌を着物・帯・舞扇・卷子・折帖・貝合わせetc. の作品を発表。
60. 尼崎秀作美術展		2008年02月		作品「雅」 折帖。 源氏物語より22首抜粋。
61. 兵庫県書道展—評議員・委員展—		2008年02月		『夢』 2×6尺 額装 万葉集から3首創作
62. 全国大学書道学会		2007年11月		作品「和」半切 額装。 与謝野晶子の和歌より。
63. 一東書道会全国展		2007年11月		作品「実り」3×8尺 額装。 万葉集より5首抜粋。
64. 日展		2007年11月		作品 「こひ」 卷子仕立。 万葉集より 35首抜粋。
65. 尼崎書人展		2007年10月		作品 「花」 2×8尺 額装。 良寛和歌より3首抜粋。
66. 読売書法展 俊英賞		2007年08月		作品「もみぢ」 卷子仕立て。 万葉集より38首抜粋。
67. 日本の書展		2007年06月		『若菜』 2首 額装 源氏物語「若菜」の巻より
68. 生活美術の書展		2007年05月		作品『梅枝』（几帳）に仕立て発表。 源氏物語の「梅が枝」の巻より1首抜粋。
69. 日本書芸院 四月展		2007年04月		作品「桜花」（2尺×8尺）額装 発表 古今和歌集より4首抜粋
70. 尼崎秀作美術展		2007年02月		『桐壺』 2尺×6尺 額装 源氏物語より
71. 日展	単	2006年11月		『空』（くう） 古今和歌集 35首 卷子
72. 兵庫県書道展—評議員・委員展—		2006年11月		『志賀の唐崎』 万葉集より2首 2尺×3尺（60cm×180cm） 額装
73. 一東書道会全国書道展		2006年11月		『旅』 古今和歌集より3首 3尺×8尺（90cm×240cm） 額装
74. 尼崎書人会展		2006年10月		『希望』 万葉集より30首 折帖
75. 全国大学書道学会		2006年10月		『ゆ め』 半切 軸装
76. 韓国光州ビエンナーレ —芸術の 祭典—		2006年09月		『かな書之美』をテーマに兵庫県書作家の仮名作家 、一東書道会を中心に代表作家展を開催した。 『さくら』 古今和歌集より 30首 折帖

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
77. 読売書法展 読売新聞社賞		2006年08月		『こころ』 新古今集より 36首 卷子
78. 第5回 書法文化書法教育国際会議	単	2006年07月	安田女子大学	『ほととぎす』 半切 軸装 2年に1回行われている書法国際会議である。 本年、安田女子大学にて、日本で初めて開催された。 次回は台湾大学が開催校である。 作品展の部では、上記を出品。
79. 生活美術の書展		2006年05月		『悠々』 風呂先屏風 万葉集より 5首
80. 日本書芸院 四月展		2006年04月		『山桜花』 古今和歌集より 3首 2尺×3尺 額装
81. 日本の書展		2006年03月		『梅の花』 万葉集より 3首 2尺×6尺 額装
82. 一東書道会代表作家展		2006年03月		『ふるさと』 「いづこより春は来しぞとたづぬれば こたへるは なに うぐひすのなく」 良寛のうた 1首 額装
83. 尼崎秀作美術展		2006年02月		『若菜』 良寛歌集より 3首 2尺×6尺 額装
84. 一東書道会全国書道展		2005年12月		『恋のうた』 新古今集より 3首 60 180 (2尺 6尺) 額装
85. 日展	単	2005年11月	社団法人 日展	『悠』 山家集より 32首 折帖
86. 兵庫県書道展－評議員・委員展－		2005年11月		『夕景』 古今和歌集より 3首 (2尺 6尺) 作品 額装
87. 尼崎書人会展		2005年11月		『万葉のうた』 万葉集より 3首 2尺×6尺 額装
88. 全国大学書道学会		2005年09月		『やまびこ』 半切 1/2 軸装
89. 読売書法展		2005年08月		『みやび』 古今和歌集より 33首 折帖
90. 生活美術の書展		2005年05月		『はる』 与謝野晶子の和歌を5首 料紙箱 (50cm×70×40) (たて×たかさ×奥行)
91. 日本書芸院		2005年04月		『西行のうた』 3首 2尺×6尺 額装
92. 日本の書展		2005年03月		『こころ』 古今和歌集より 2首 額装
93. 一東書道会代表作家展		2005年03月		『愛』 万葉集より 1首 額装
94. 尼崎秀作美術展		2005年02月		『み吉野の』 古今和歌集より 2首 2尺×6尺 額装
95. 尼崎書人会展		2004年12月		『草枕』 良寛の和歌より 3首 2尺×6尺 額装
96. 一東書道会全国書道展		2004年12月		『もみち』 万葉集より 2首 3尺×8尺 額装
97. 兵庫県書道展		2004年11月		『山里』 山家集より 3首 2尺×6尺 額装
98. 日展	単	2004年11月	社団法人 日展	『華』 源氏物語中の和歌 30首 折帖 仕立て
99. 全国大学書道学会		2004年10月		『鳴戸』 半切 1/2 軸装
100. 読売書法展		2004年08月		『緑陰』 古今和歌集より 32首 折帖仕立て
101. 生活美術の書展		2004年05月		『四季』 季節の和歌4首 新古今集より 衝立 仕上げ
102. 日本書芸院 四月展		2004年04月		『春』

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
103. 日本の書展		2004年03月		良寛の和歌 3首 (2尺×3尺) 額装 『慈愛』 良寛歌集より 5首 2尺×6尺 額装
104. 一東書道会代表作家展		2004年03月		『扇』 万葉集より 1首 額装
105. 尼崎秀作美術展		2004年02月		『あけぼの』 枕の草子より 2尺×8尺 額装
106. 一東書道会全国書道展		2003年12月		『情(こころ)』 良寛歌集より 3首 3×8尺 額装
107. 尼崎書人会展		2003年11月		『もみぢ』 良寛歌集より 2首 2×6尺 額装
108. 兵庫県書道展		2003年11月		『大 空』 良寛歌集より3首 2尺×6尺 額装
109. 日展	単	2003年11月	社団法人 日展	『はるかなる』 新古今和歌集より 32首 折帖
110. 全国大学書道学会		2003年10月		『 秋 』 与謝野晶子の歌を 1首 軸装
111. 読売書法展		2003年08月		『をみなえし』 古今和歌集より 30首 折帖仕立て
112. 生活美術の書展		2003年05月	一東書道会	『天離る』 万葉集より 8首 隅立て屏風に仕立てる
113. 日本書芸院 四月展		2003年04月		『行く春』 万葉集より 3首 2尺×8尺 額装
114. 日本の書展		2003年03月		『桐壺』 額 源氏物語 「桐壺」の巻きより 1首
115. 一東書道会 代表作家展		2003年03月		『空蟬』 茶掛 源氏物語「空蟬」の巻きより 1首
116. 尼崎秀作美術展		2003年02月		『うぐひす』 卷子 西本願寺36人集(伊勢集)より 30首
117. 一東書道会全国展		2002年11月		『秋の夕暮れ』 額装 2尺×8尺 万葉集より5首
118. 兵庫県書道展 一評議員・委員展		2002年11月		『鹿のこえ』 万葉集より 3首 2尺×6尺 額装
119. 日展 入選 『芳和』		2002年11月		『芳和』折帖 古今和歌集より28首
120. 全国大学書道学会		2002年11月		『ひかり』 山家集より 1首 半切 軸装
121. 尼崎書人会展		2002年10月		『花』 2尺×6尺 額装 古今和歌集より3首
122. 読売書法展		2002年08月		『十五夜』 卷子 万葉集より 三十首
123. 生活美術の書展		2002年05月		『さくら』 新古今和歌集より 2首 暖簾 に表現 (暖簾に書く)
124. 日本書芸院 四月展		2002年04月		『いにしへの』 万葉集より 3首 2尺×8尺 額装
125. 日本書芸院二月展、日本書芸院大賞	単	2001年02月	社団法人 日本書芸院 二月展	
126. 日展	単	2000年11月	社団法人 日展	
127. 日本書芸院二月展、日本書芸院大賞	単	2000年02月	社団法人 日本書芸院 二月展、	
128. ゆめ(帖)		1999年11月		“日展” 於東京都美術館 社団法人日展
129. 希望(帖)		1999年08月		“読売書法展” 於京都市美術館 読売新聞社
130. 良寛歌(額装)		1999年05月		“兵庫県書作家協会50周年夢書展” 於神戸大丸 兵庫県書作家協会
131. 古今和歌集抄(額)		1999年02月		“日本書芸院二月展” 於OMMビル 社団法人日本書芸

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
132. ことほぎのうた（額）作品発表（日本書芸院二月展） 133. 恵方（額）作品発表（尼崎芸術文化協会展） 134. もみぢ（帖）作品発表（全国一東書道会展） 135. 年の始（額）作品発表（尼崎書人会展） 136. 賀のうた（額）作品発表（兵庫県書作家協会役員展） 137. 古今和歌集夏歌抄（帖）作品発表（社団法人日展） 138. ほととぎす（帖）作品発表（読売書法展） 139. 良寛歌（軸）作品発表（一東書道会生活美術展） 140. 梅（額）作品発表（日本書芸院二月展） 141. 鶴亀（額）作品発表（尼崎芸術文化協会展） 142. 古今和歌集冬歌抄（折帖）作品発表（全国一東書道会展） 143. 春のおとづれ（軸）作品発表（兵庫県書作家協会役員展） 144. 春のころ（額）作品発表（尼崎書人会展） 145. 吉野川（折帖）作品発表（社団法人日展） 146. 古今和歌集夏歌抄（折帖）作品発表（読売書法展） 147. 方丈記抄（横額）他4点作品発表（菁莪展） 148. 百人一首（卷子本）にて作品発表（一東書道会生活美術展） 149. 『安倍仲麿のうた』作品発表 150. 『唐国のうた』作品発表 151. 『明けの春』作品発表 152. 『旅人』作品発表 153. 日本書芸院四月展 特別賞 154. 読売書法展特別賞 155. 兵庫県書道展 156. 書芸院四月展 157. 一東書道会展 158. 日本美術展覧会展 159. 読売書道展 160. 良寛歌 夏歌1首 161. 良寛歌 春歌1首 162. 良寛歌 8首 163. 古今和歌集より 30首 164. 古今和歌集 秋歌 165. 古古今和歌集 序抄 166. 新古今和歌集 10首 167. 良寛歌（月と兎）全 168. 良寛歌より 3首 169. 良寛歌（手毬） 2首 170. 新古今集より 3首 171. 古今集より 1首 172. 万葉集より 15首 173. 万葉集より 10首		1998年02月 1998年02月 1997年12月 1997年12月 1997年12月 1997年11月 1997年08月 1997年05月 1997年02月 1997年02月 1996年12月 1996年12月 1996年12月 1996年11月 1996年08月 1996年08月 1996年05月 1996年02月 1995年12月 1995年11月 1995年08月 1995年03月 1994年08月 1993年03月 1993年03月 1992年12月 1992年11月 1992年08月 1992年05月 1992年04月 1992年03月 1991年12月 1991年11月 1991年08月 1991年04月 1991年03月 1990年12月 1990年11月 1990年08月 1990年05月 1990年04月 1990年03月	院 日本書芸院大賞受賞 山家集より（1995年3月28日～4月1日） 古今和歌集より祝の歌を 古今集より 春の和歌12首 2尺×1尺（横額）特別賞 山家集より 1尺×12尺（卷子）特別賞 古今集より冬の和歌10首 2尺×6尺（横額）奨励賞 古今集より秋の和歌18首 2尺×7尺（横額） 古今和歌集より15首（夏の和歌） 2尺×6尺（横額）秀逸賞（1992年8月20日～28日） 一東書道会展 縦2尺×1尺 日本書芸院4月展 横2尺×1尺 兵庫県書道展 横2尺×6尺 一東書道会展 横2尺×6尺 日展 横2尺×6尺 読売書道展 横3尺×6尺 一東書道会展 縦2尺×6尺 兵庫県書道展 横2尺×6尺 一東書道会展 横2尺×6尺 日展 横2尺×6尺 読売書法展 横2尺×6尺 一東書道会展 横2尺×6尺 日本書芸院四月展 横2尺×6尺 兵庫県書道展 横2尺×6尺	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
174. 良寛冬歌より 八首		1989年12月		一東書道会展 横2尺×6尺
175. 良寛夏歌より 五首		1989年08月		読売書法展 横2尺×6尺
176. 良寛歌より 春歌		1989年04月		日本書芸院四月展 縦2尺×6尺
177. 古今和歌集 20首		1989年03月		兵庫県書道展 横2尺×6尺
178. 方丈記より		1988年12月		一東書道会展 (横) 1尺×10尺一帖
179. 良寛つれづれ		1988年11月		良寛(季刊誌年二回)第14号 特集 ―教育者からみた良寛― 良寛の墨蹟、書簡等より教訓をうける作品等例にあげ良寛の姿をさぐっていく。
180. 良寛歌 一首		1988年10月		良寛生誕230周年顕章記念『「良寛・こころの書」現代書象墨聚』に作品揮毫及び解説
181. 良寛歌より 三首		1988年08月		読売書法展 横2尺×6尺
182. 山家集より 三首		1988年03月		兵庫県書道展 横2尺×6尺
183. 社団法人 日展 入選				2002. 11. 2~11. 24 『芳和』 古今和歌集から35首 折帖仕上げ
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 未来、自分の未来		2017年5月2日	愛媛県立土居高等学校	タイミングを生かす、目標を持つ意味など、自分の未来を考え、今後の高校生活や人生に役立ててほしいという講和
2. 「西安碑林の調査、研究」 中国西安にて。 中国の書道家との研究会 西安碑林(陝西省博物館)の碑や、まだ屋外にあると推定される碑の調査研究を行う事となった。 今夏、第1回実施。		2006年		
3. 小大君と香紙について	単	2003年	書道研究‘一東’ 5号 314号	小大君が香紙に書き付けた「香紙切」は、これまで、防虫効果のため、というのが通説である。しかし、角度を変えれば他の考えも成立する。
4. 良寛と手毬と書	単	1991年08月	滴水 36号	滴水 36号 良寛は子供達と遊ばずにはいらなかった時代背景。今日遊ぶ子供は明日売られていくかも知れぬ……。過酷な田沼時代。度重なる大地震、風水害、早ばつという大自然の裏切り、信濃川の氾濫に泣き地を這いまわった農民、漁民達、その子供達を忘れてはならない。借金と上納に苦しむどん底暮らしの貧農の子供娘達の身売りはさげられない実情、群馬県の大通寺には越後からの飯盛女たちが葬られている。良寛は、権力を体制を世俗を矛盾を貧困を差別をしかと嗅ぎとり、子供と戯れずにはいらなかった、その心情が書風にも表現されるのである。
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2012年10月	全国大学書道学会
2. 2012年08月	読売書法会
3. 2012年04月	日本書芸院
4. 2012年03月	兵庫県書作家協会